

山口県周防大島町議会

事績 1 政策づくりと監視機能を十分に発揮している議会

(1) 議会活動の継続的な実施

議会の活動は、議案を審議するだけでなく、請願・陳情の審査や町民の利益のために行政の基本的施策等について提言を行い、その実現を図るという積極的な姿勢が求められていることから、町の最重要課題である「定住対策」「子育て・教育支援」「防災対策」等をテーマにした特別委員会を設置し、町民の負託に応えるための調査・研究を継続的に行っている。

(2) タブレット端末の導入

各種会議（議会事務局からの連絡、スケジュール管理、執行部からの情報提供など）及びその他の議員活動（広報広聴活動、議員相互及び町との情報伝達、災害時の緊急情報伝達、その他政務活動など）における ICT 技術の活用について、令和 2 年 4 月からタブレット端末を導入し、情報共有の迅速化や業務の効率化を図っている。あわせて、ペーパーレス化によるゴミの削減と森林資源の保護、印刷等にかかる労力軽減などの効果も発揮している。

(3) 行動指針

台風や地震等大規模災害時及び大規模事故等の非常時において、町対策本部が設置された場合、町が迅速かつ円滑な応急対策に全力で専念できるよう、大局的見地から必要な協力と支援を行い、対策本部と連携して国・県及び関係公共機関に適切な要望活動を行うとともに、町の復旧・復興の取り組みを強力にサポートするため、議会並びに議員の行動について、非常時における行動指針を取りまとめた。

事績 2 住民に開かれた議会

(1) 定例会の公開

町政を身近なものとして感じてもらうため、防災行政無線や町ホームページを活用して本会議や常任委員会の傍聴を勧めている。

また、本会議の様子は、CATV で集録・放映を行っている。

(2) 議会広報誌による広報活動

定例会ごと年 4 回、議員自らが編集作業にあたり、定例会の翌月中旬、町内の全世帯に「議会だより」を配布し、あわせてホームページにも掲載している。

主な内容は、定例会・臨時会の概要、各委員会の報告、一般質問、議会及び議員の活動報告等である。

なお、令和 3 年 4 月から、議会広報誌に QR コードを付し、町長の行政報告、議長の諸般の報告、一般質問等の動画配信を始めた。

(3) 議会に関する情報の公開／ホームページの活用

- ①議会構成及び議員名簿
- ②本会議等の日程及び結果
- ③一般質問の通告内容
- ④傍聴の案内
- ⑤本議会の議事録
- ⑥議会広報「議会だより」
- ⑦動画配信の運用方針ほか

事績 3 地域活性化のため特別な取組みをした議会

(1) 複雑化・多様化する課題の解決に向けて／提言書

過疎化・高齢化が進み、4 つの有人離島を抱える本町においては、単一の部署

だけでは対応に限界が生じ、具体的な成果の創出が困難になっている実態は否めない。

よって、町民の生活やコミュニティを含むまちづくり、また、福祉等の総合的観点からの検討が不可欠であることから、地域の実情と将来を見据えた地域交通のあり方、そして、イノシシをはじめとする害獣対策など、町民の安心安全な生活環境を確保するため、行政内部で諸課題に対する意識を共有し、連携した実効性のあるまちづくりを早急に進めることを目的とし、令和3年6月、町長直属の庁内横断的組織の設置を速やかに具現化するよう提言した。

(2) コロナ禍における行動自粛制限の緩和／要請書

2年近くにわたる新型コロナウイルス感染症拡大により、未曾有の大打撃を受け、疲弊した地域経済の活性化や地域活動の再開と、町民の日常を取り戻すため、これ以上の感染拡大を防止することを前提として、時期を逸しないよう、令和3年9月、本町町民の町内での行動自粛制限の緩和について、早急に柔軟な対応と支援策を講じるよう、議会の総意をもって執行部へ強く要請した。